

都市再生整備計画(第5回変更)

とうかい おおたがわ えきしゅうへん
東海太田川駅周辺地区

愛知県 とうかい 東海市

平成21年 3 月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|----------|------|-------------|------|----------------------------------|----|----------|
| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | トウカイ 東海市 | 地区名 | トウカイオオタ ガワモキショウケン 東海太田川駅周辺 | 面積 | 400 ha |
| 計画期間 | 平成 17 年度 | ～ | 平成 27 年度 | 交付期間 | 平成 17 年度 | ～ | 平成 21 年度 |

目標

- ◎～都市活力の創出を目指して～「にぎわい拠点」となる太田川駅周辺まちづくり ◎～自然環境を生かした都市づくりを目指して～太田川駅周辺を核とした「花・水・緑の基幹軸」の形成
- ・交通利便性の高い地区特性を生かし、駅を核に來街者や利用者並びに居住者といった全ての人にやさしく、知多半島・東海市を代表するシンボリックな空間を創出し、質の高い複合的な都市拠点の創出並びに活力ある中心市街地の形成を目指す。
 - ・防災上問題のある、狹隘な道路に囲まれた密集老朽化住宅及び地盤高から発生する慢性的な浸水状況を土地区画整理事業により解消し、安心・安全なまちづくりを推進する。
 - ・都市計画マスタープランに位置づけられた「花・水・緑のネットワーク」構想により、自然環境を生かした潤いのある生活空間造りと教育文化施設の有機的結合を目指す。

目標設定の根拠

東海市は中部新国際空港、第二東名・名神など知多半島の玄関口としてのみならず、中部圏・全国へのゲートウェイとして重要な役割を担う可能性を有している。名古屋市にも隣接し、公共交通機関のアクセス及び職住近接型の住宅地としての立地条件も良いことから土地区画整理事業により都市基盤整備が進められ、名古屋圏・知多半島を代表する都市として着実な歩みを重ねてきた。

土地区画整理事業においては、市街化区域の16%を占める483.5haが完了及び施行中となっており、本計画区域内においても太田川駅周辺地区(64.3ha)が施行中である。

太田川駅周辺地区は、中部国際空港への唯一の鉄道アクセスである名鉄常滑線及び名鉄河和線の連続立体交差事業に併せて施行中の土地区画整理事業で、両線の分岐点となる名鉄太田川駅を有する地区であり、市の中心地区でもあることから本市の「顔」となるべき条件を兼ね備えている。

しかしながら、市街地にはまとまりが無く、狹隘な道路に囲まれた街区の中に老朽住宅が密集してスプロール的な広がりを示していることに加え、駅周辺の市街地を取り巻く後背地も広がりに乏しく、都市の中核となる市街地が形成されていない。また、平面鉄道によるまちの分断、市街化区域内の生産緑地を除いた宅地化農家の点在、下水道の未整備や過去に行われた水田を埋め立てての宅地開発等による慢性的な浸水状況、更には道路・公園等の都市基盤整備も遅れており、防災上の面だけでなく、住環境も整備されていないなど、本市の中心市街地を形成する上で数多くの問題点を抱えている。

そのため、平成12年度よりまちづくり総合支援事業を導入し、総合的な整備を推進してきたが、未だ途中段階の事業が多く目標とするまちづくりの現実化には至っていない。前述のまちづくり総合支援事業の計画期間は平成16年度までであるため、平成17年度よりまちづくり交付金制度を活用し、更なる事業推進を図るものである。

課題

・連続立体交差事業、下水道事業及び土地区画整理事業により、順次整備が進められているが、都市拠点として駅前広場や都市計画特殊道路には地域のシンボル性を踏まえた整備のあり方や、多数の來街者が見込まれるため、高齢者や障害者を含む全ての人にやさしい市街地環境の創出が課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

- 都市拠点核(太田川駅周辺)
 - ・知多半島及び東海市の玄関口として、駅・バス停・駐車場・公共施設・商業施設・金融機関等を機能的に結ぶ交通利便性の高い複合的な「にぎわい拠点」(出典:東海市都市計画マスタープラン)の形成を図る。
- 花・水・緑の基幹軸(出典:東海市都市計画マスタープラン)
 - ・市域を流れる3つの河川を軸に『花・水・緑の基幹軸』を形成し、これと連携して太田川駅から周辺の公園・河川・公共施設等をネットワークで結び、都市環境の維持・改善、健康・レクリエーション機能の確保、美しい都市景観の形成等を推進し、「自然環境との共生」のみならず「安全性・快適性」も兼ね備えたエコシティの実現を目指す。

目標を定量化する指標

| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | |
|--------------|-----|----------------------------------|--|---------|--------|--------|
| | | | | | 基準年度 | 目標年度 |
| 駅周辺のバリアフリー化 | m | 駅周辺幹線道路のバリアフリー化延長 | 安全・安心の度合いについて道路のバリアフリー化延長で評価する。 | 0 | 平成15年度 | 平成21年度 |
| 地区内道路の緑化率 | % | 幹線道路全延長に対する緑化道路延長の割合 | 質の高い生活空間について道路の緑化率で評価する。 | 40 | 平成15年度 | 平成21年度 |
| 浸水被害面積 | ha | 区域内で発生した浸水被害面積 | 下水道整備について浸水被害面積で評価する。 | 4.9 | 平成15年度 | 平成21年度 |
| 建築物の耐震割合 | % | 区域内建築物の耐震割合(阪神淡路大震災以降の基準に適合する割合) | 密集・老朽化・非耐震住宅の解消について耐震建築物率で評価する。 | 21.5 | 平成15年度 | 平成21年度 |
| 文化・教育施設の利用者数 | 人 | 中央図書館と青少年センターの年間利用者数 | 花・水・緑の基幹軸構想について、ネットワーク上にある両施設の利用者増で評価する。 | 395,000 | 平成15年度 | 平成21年度 |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●交通結節点の総合的整備・活力ある中心市街地の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・太田川駅周辺において、駅前広場整備や自転車駐車場により公共交通への結節性を高めるとともに、マルチモーダルを促進する。 ・交通機能に加え、景観や快適性といった環境空間機能の確保に配慮する。 ・土地区画整理事業など基盤整備にあわせて、知多半島・東海市を代表する中心市街地にふさわしい活力ある空間を創出するため、再開発事業の実施に向けた勉強会の開催や、文化資源の保全活動など、まちづくりを促進するための体制作りを構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(基幹事業) ・高質空間形成施設(基幹事業) ・土地区画整理事業(基幹事業) ・市街地再開発事業(関連事業) ・連続立体交差化事業(関連事業) |
| <ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全な生活空間の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺及び都市計画特殊道路等においては、交通バリアフリー法やハートビル法等に基づき、誰にでも使い易いデザインに配慮した歩行者動線を確保する。 ・計画的な下水道整備を推進し、浸水被害を最小に留めるとともに、土地区画整理事業に伴う移転により、密集住宅地の解消に努める。 ・区域内の狭隘道路については、順次拡幅等の整備を進め、緊急車両の通行に支障がないよう道路空間を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路(基幹事業) ・公園(基幹事業) ・下水道(基幹事業) ・高質空間形成施設(基幹事業) ・土地区画整理事業(基幹事業) |
| <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境と融和した潤い空間の提供と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・花・水・緑のネットワーク構想により、中心市街地でありながら、確保された大池公園・大田公園・大田川等の自然環境と中央図書館・青少年センターといった文化・教育施設を有機的に結合し、潤いのある空間を確保し、来街者に判り易いサイン計画を策定し、利用者サービスに努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園(基幹事業) ・地域生活基盤施設(基幹事業) ・高質空間形成施設(基幹事業) ・土地区画整理事業(基幹事業) |
| <p>その他</p> <p>東海市は、現在2地区においてまちづくり交付金を導入して、積極的にまちづくりを推進している。当地区においても、市の中心市街地としての整備を図るべく連続立体交差化事業の完了に併せて、まちづくり交付金を導入し、まちづくりの更なる推進が望まれている。また、同じ知多半島に位置する他の4市・5町並びに愛知県と協同して「中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画」を骨子とする「地域再生計画」を策定し、平成16年6月21日に認定を受けたことから、東海圏・知多半島の玄関口としての機能が求められていることから、まちづくり交付金の導入が必須であると考えられる。</p> <p>交付期間中の各事業において、関係者と市が調整を行いながら、目標に向けてより良い事業成果を挙げる。事業内容や進捗状況等については、ホームページにより一般市民に公表する。</p> | |

交付対象事業等一覧表

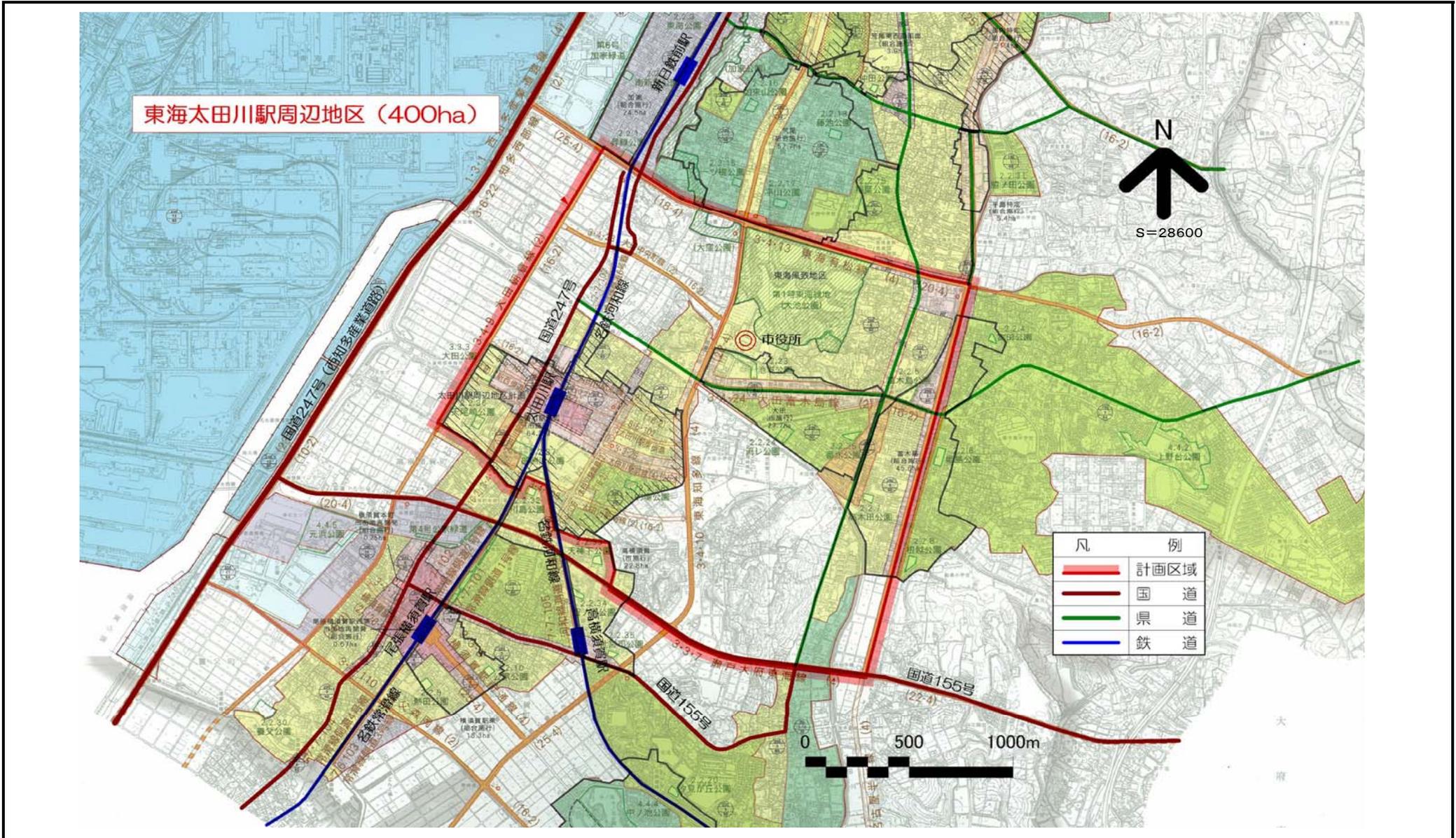
| | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 交付対象事業費 | 6,269 | 交付限度額 | 2,507 | 国費率 | 0.4 |
|---------|-------|-------|-------|-----|-----|

(金額の単位は百万円)

| 事業 | | 事業箇所名 | 事業主体 | 直/間 | 規模 | (参考)事業期間 | | 交付期間内事業期間 | | (参考)全体事業費 | 交付期間内事業費 | うち官負担分 | うち民負担分 | 交付対象事業費 |
|---------------|-------------|--------------|----------|---------|--------|----------|------|-----------|--------|-----------|----------|---------|--------|---------|
| 細項目 | 開始年度 | | | | | 終了年度 | 開始年度 | 終了年度 | | | | | | |
| 道路 | 元浜線 | 東海市 | 直 | 0.50km | H20 | H20 | H20 | H20 | 10 | 10 | 10 | | 10 | |
| | 大田川左岸3号線 | 東海市 | 直 | 0.04km | H17 | H21 | H17 | H21 | 21 | 21 | 21 | | 21 | |
| | 内堀2・3号線 | 東海市 | 直 | 0.15km | H17 | H20 | H17 | H20 | 114 | 114 | 114 | | 114 | |
| | 下浜田9号線 | 東海市 | 直 | 0.22km | H19 | H21 | H19 | H21 | 130 | 130 | 130 | | 130 | |
| 公園 | 大池公園 | 東海市 | 直 | 24.8ha | H17 | H20 | H17 | H20 | 465 | 465 | 465 | | 465 | |
| | 大田公園 | 東海市 | 直 | 1.5ha | H20 | H27 | H20 | H21 | 1,737 | 0 | 0 | | 0 | |
| | 松崎史跡公園 | 東海市 | 直 | 0.14ha | H19 | H20 | H19 | H20 | 115 | 115 | 115 | | 115 | |
| 河川 | | | | | | | | | | | | | | |
| 下水道 | 東海処理区 | 東海市 | 直 | 118.4ha | H2 | H27 | H17 | H21 | 1,159 | 1,104 | 1,104 | | 1,104 | |
| 駐車場有効利用システム | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域生活基盤施設 | — | 東海市 | 直 | — | H18 | H21 | H18 | H21 | 48 | 33 | 33 | | 33 | |
| 高質空間形成施設 | — | 東海市 | 直 | — | H17 | H21 | H17 | H21 | 55 | 16 | 16 | | 16 | |
| 高次都市施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 既存建造物活用事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市再生交通拠点整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地区画整理事業 | 太田川駅周辺地区 | 東海市 | 直 | 64.3ha | H12 | H27 | H17 | H21 | 6,616 | 4,035 | 4,035 | | 4,035 | |
| 市街地再開発事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 住宅街区整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 地区再開発事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 人にやさしいまちづくり事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 優良建築物等整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 住宅市街地総合整備事業 | 拠点開発型 | | | | | | | | | | | | | |
| | 沿道等整備型 | | | | | | | | | | | | | |
| | 密集住宅市街地整備型 | | | | | | | | | | | | | |
| | 耐震改修促進型 | | | | | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 住宅地区改良事業等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 都心共同住宅供給事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 公営住宅等整備 | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市再生住宅等整備 | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災街区整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | 10,470 | 6,043 | 6,043 | 0 | 6,043 | |
| 提案事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業 | | 事業箇所名 | 事業主体 | 直/間 | 規模 | (参考)事業期間 | | 交付期間内事業期間 | | (参考)全体事業費 | 交付期間内事業費 | うち官負担分 | うち民負担分 | 交付対象事業費 |
| 細項目 | 開始年度 | | | | | 終了年度 | 開始年度 | 終了年度 | | | | | | |
| 地域創造支援事業 | 図書館整備事業 | 中央図書館 | 東海市 | 直 | 2,410㎡ | H17 | H18 | H17 | H18 | 85 | 85 | 85 | | 85 |
| | 青少年センター整備事業 | 青少年センター | 東海市 | 直 | 5,060㎡ | H17 | H17 | H17 | H17 | 28 | 28 | 28 | | 28 |
| | 排水路整備事業 | 大田川排水路 | 東海市 | 直 | 37m | H17 | H17 | H17 | H17 | 7 | 7 | 7 | | 7 |
| | 防災拠点整備事業 | 東海市消防団第5分団詰所 | 東海市 | 直 | 38㎡ | H19 | H19 | H19 | H19 | 20 | 20 | 20 | | 20 |
| 事業活用調査 | 事業評価調査 | — | 東海市 | 直 | 400ha | H19 | H21 | H19 | H21 | 11 | 11 | 11 | | 11 |
| まちづくり活動推進事業 | 市街地再開発促進事業 | 太田川駅周辺地区 | 再開発研究会 | 間 | — | H17 | H21 | H17 | H21 | 2 | 2 | 2 | | 2 |
| | 指定文化財保護 | 大田地区 | 大田まつり保存会 | 間 | — | H17 | H21 | H17 | H21 | 148 | 148 | 74 | 74 | 74 |
| 合計 | | | | | | | | | 300 | 300 | 226 | 74 | 226 | |
| | | | | | | | | | | | | 合計(A+B) | 6,269 | |

都市再生整備計画の区域

| | | | |
|--|----|--------|--|
| とうかい おおたがわえきしゅうへん 東海太田川駅周辺地区(愛知県東海市) | 面積 | 400 ha | 区域 尾島町大塚・源氏山一ツ楯・大田町石田・後田・特地・蟹田・磯ヶ峰・上浜田・上前田・柿ノ木・川島・川南新田・堀中・汐田・下畑・清水島・下前田・樹木・庄之島・城之原・城山・神宮前・瀬戸山・宇根・高ノ御前・寺下・天神下・上野ノ島・畑前・塚本・東徳・堤野・徳塚・堀切・前田・前畑・松崎・山崎・寺五八六交・迎木屋町内堀・樹・高橋須賀町余下前・御洲浜・吳天石・坂下・天神下・山屋敷・中央町一・二・三・四・五・六・七丁目・富木島町上り戸・石根・内堀・北広・北屋敷・砂ノ間・中屋敷・西広・八幡下 |
|--|----|--------|--|



東海太田川駅周辺地区(愛知県東海市) 整備方針概要図

| | | | | | | | | |
|----|---|--------|---------------------|-----|--------|---|-------|--------|
| 目標 | ◎～都市活力の創出を目指して～「にぎわい拠点」となる太田川駅周辺まちづくり | 代表的な指標 | 駅周辺のバリアフリー化延長 (m) | 0 | (15年度) | → | 1,114 | (21年度) |
| | ◎～自然環境を生かした都市づくりを目指して～太田川駅周辺を核とした“花・水・緑の基幹軸”の形成 | | 地区内道路の緑化率 (%) | 40 | (15年度) | → | 47 | (21年度) |
| | | | 浸水被害面積 (ha) | 4.9 | (15年度) | → | 1.4 | (21年度) |

